

オブジェクト指向の考え方



Programming framework: Procedure Oriented

- ●データ処理手順を中心に考える
 - データ処理のためのサブプログラムや関数を組み合わせる
- ●流れ図による整理
- ●手続き型プログラミング言語
 - C, Fortran
- 対象の操作・動作を手続きに翻訳しなければならない。
- ●アルゴリズム最適化などで高速化可能。



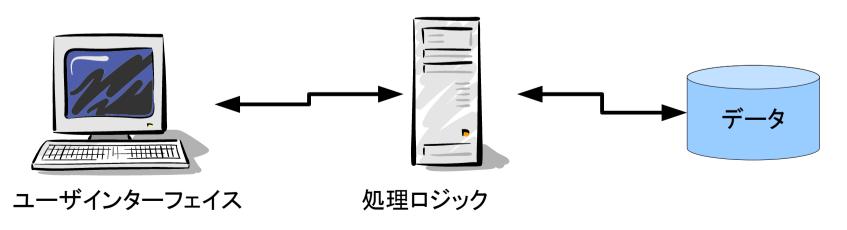
Programming framework: Data Oriented

- ・データを中心に考える
 - ●データがどのように変化していくか
- ・データフローによる整理
- ・データベース処理
- ●対象をデータとして整理しなければならない。
- ●巨大なデータを扱える。



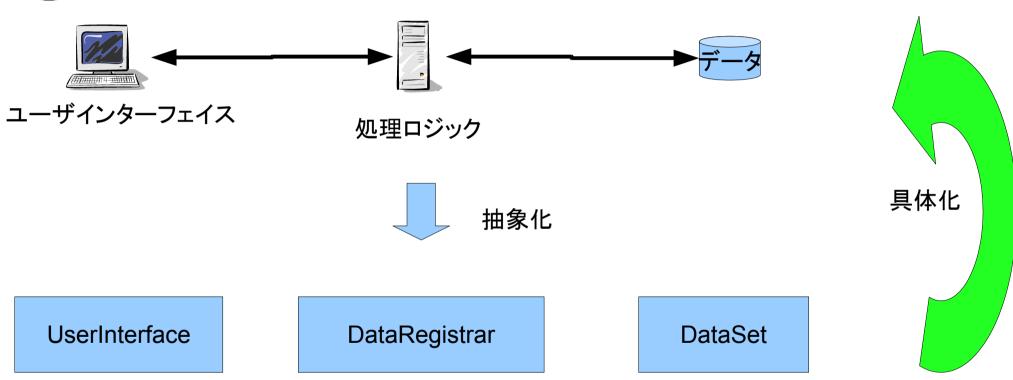
Programming framework: Object Oriented

- オブジェクトとして対象を捉える
 - データとその動作・処理の組
- オブジェクトの相互作用としてシステムの動作をとらえる。
 - ●日常の考えに近い





Objects, Classes and Instances



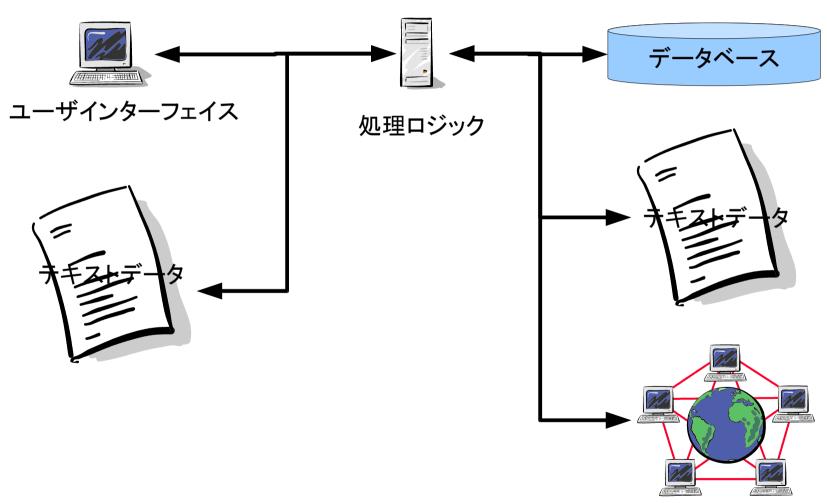


Objects, Classes and Instances

- オブジェクト
 - ●取り扱い対象
- クラス
 - ●オブジェクトを抽象化したもの
 - ●データの型に相当
- ・インスタンス
 - ・クラスを実体化したもの
 - ●具体的な値が入っているデータ



実装とインターフェイスの分離





オブジェクト指向で得られるもの

- ●様々な実装に対応したい
- できるだけプログラムをいじらない
- ●他人の書いたプログラムを活用する

• 開発コスト・保守コストの削減



Field

- クラス内のデータ
- ・Fieldと呼ぶ
- ●FieldへのアクセスはMethodを通じて行う
 - ●アクセス制限
- クラスに属するfieldとインスタンスに属する field



Method

- field~アクセスするmethod
 - クラスのデータへアクセス:Getter
 - クラスのデータを変更:Setter
- ●オブジェクトの操作を行うmethod



Javaでは全てがクラスに属する

- ●主語を中心に問題を記述する。
- ●どうしても述語になってしまうものもある。
 - ・数学関数など汎用的な処理類
- その述語を管理するべきクラスを考える
 - ●クラスに属するmethodとして定義



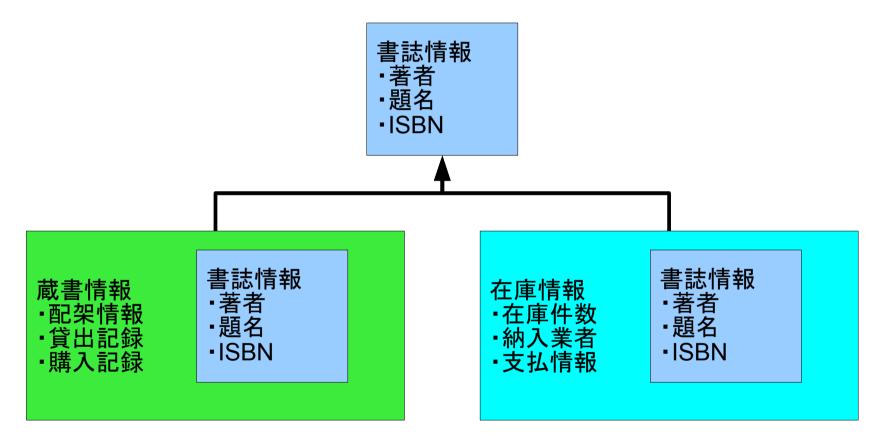
```
Public class Class {
 private int field=0;
                                           Getter
 public getField(){return field;}
 public setField(int field){
                                     Setter
 this.field=field;
```



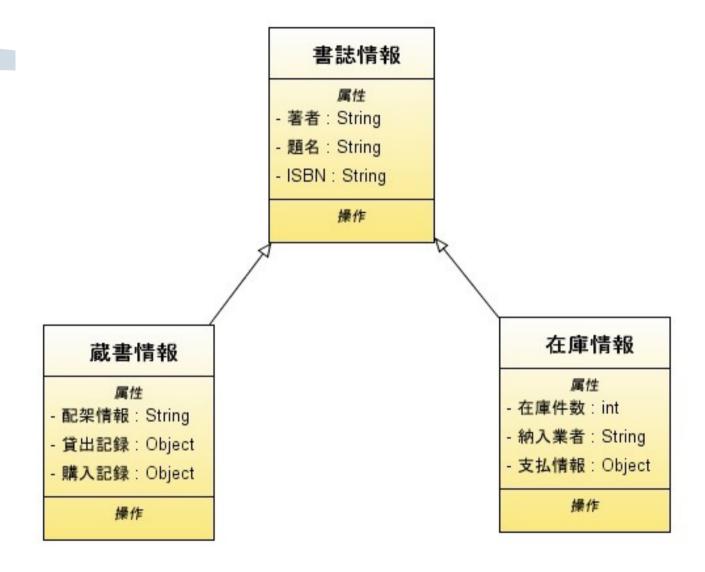
クラスの継承 (Inheritance)

- ●既存のクラスを引き継いで新しいクラスを定義
 - ・より具体化する
 - ●対象に近づける
- 元のクラスのFieldとMethodを引き継ぐ
- ●新しいFieldやMethodを追加する
- Methodを実装する:抽象クラスの継承





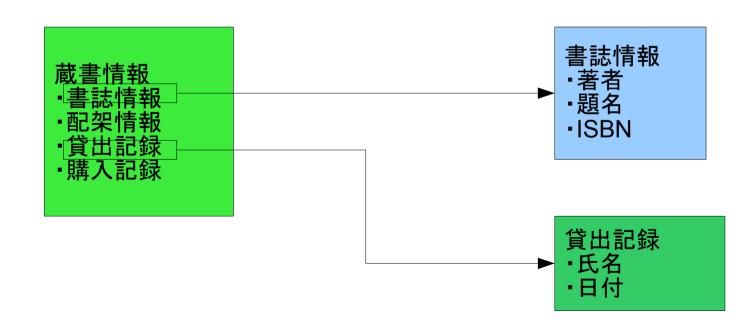






集約 (Aggregation)と 合成集約 (Composition)

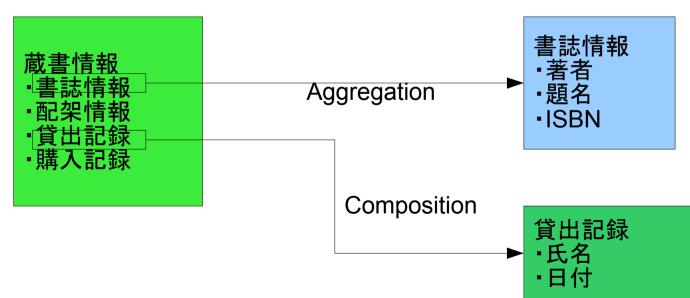
- オブジェクトの集まりをオブジェクトにする。
- ●例:図書館の蔵書情報



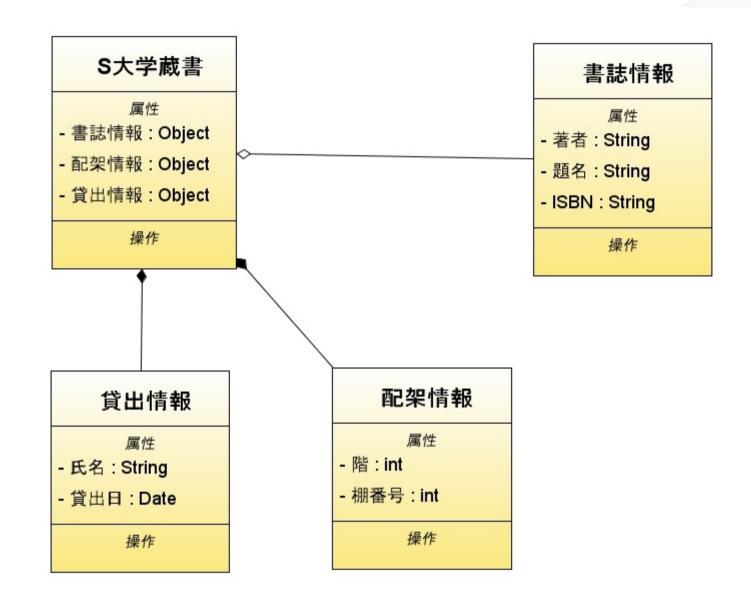


集約 (Aggregation)と 合成集約 (Composition)

- ●集約:つながりの弱い場合
 - ●書誌情報が外部DB: 蔵書情報と独立に存在
- 合成集約:つながりが強い場合
 - ●貸出情報は蔵書情報が無いと無意味









抽象クラス

- ●Methodが実装されていないクラス
- データの持ち方がほぼ決まっている
 - ●一部methodが実装されていない
- 操作のされ方がほぼ決まっている
 - ●インターフェイスの名前が決まっている
 - ・実装がされていない



多態性 (Polymorphism)

●同じメッセージに対して異なる処理を行う

